

環境基準項目

項目	環境基準 mg/L	測定方法	報告下限値 mg/L	有効 桁数
カドミウム	0.003以下	JIS K 0102 55.2 電気加熱原子吸光法 " 55.3 ICP 発光分光分析法 " 55.4 ICP 質量分析法	0.0003	2
全シアン	検出されないこと。	JIS K 0102 38.1.2 (備考11を除く。以下同じ)及び 38.2 吸光光度法 " 38.1.2 及び38.3 吸光光度法 " 38.1.2 及び38.5 流れ分析法	0.1	2
鉛	0.01 以下	JIS K 0102 54.1 鉛原子吸光法 " 54.2 電気加熱原子吸光法 " 54.3 ICP 発光分光分析法 " 54.4 ICP 質量分析法	0.005	2
六価クロム	0.05 以下※ (※令和4年4月1日以降 は0.02以下)	JIS K 0102 65.2.1 ジフェニルピコリン酸吸光光度法 " 65.2.3 電気加熱原子吸光法 " 65.2.4 ICP 発光分光分析法 " 65.2.5 ICP 質量分析法 " 65.2.6 流れ分析法(塩分の濃度の高い 試料を測定する場合にあつては、 JIS K 0170-7 の7 のa)又はb)に 定める操作を行うものとする。)	0.02 ※ (※令和4年4 月1日以降は 0.01)	2
砒素	0.01 以下	JIS K 0102 61.2 水素化物発生原子吸光法 " 61.3 水素化物発生ICP 発光分光分析法 " 61.4 ICP 質量分析法	0.005	2
総水銀	0.0005以下	環境基準告示 付表2 還元気化原子吸光光度法	0.0005	2
アルキル水銀	検出されないこと。	環境基準告示 付表3 GC 法(ECD)	0.0005	2
PCB	検出されないこと。	環境基準告示 付表4 GC 法(ECD)	0.0005	2
ジクロロメタン	0.02 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
四塩化炭素	0.002以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
クロロエチレン	0.002以下	環境庁告示第10号 付表の第1 パージ・トラップGC-MS法 " 付表の第2 ヘッドスペースGC-MS法	0.0002	2
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
1,1-ジクロロエチレン	0.1 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
トランス-1,2-ジクロロエチレン		JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
1,1,1-トリクロロエタン	1 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
トリクロロエチレン	0.01 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
テトラクロロエチレン	0.01 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
1,3-ジクロロプロパン	0.002以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0004	2
チウラム	0.006以下	環境基準告示 付表5 高速液体クロマトグラフ法	0.0006	2
シマジン	0.003以下	環境基準告示 付表6の第1 GC-MS 法 " 付表6の第2 GC 法(FTD)	0.0003	2
チオベンカルブ	0.02 以下	環境基準告示 付表6の第1 GC-MS 法 " 付表6の第2 GC 法(FTD) (ECD)	0.002	2
ベンゼン	0.01 以下	JIS K 0125 5.1 パージ・トラップGC-MS 法 " 5.2.1 ヘッドスペースGC-MS 法 " 5.2.2 トラップ型ヘッドスペースGC-MS 法	0.0002	2
セレン	0.01 以下	JIS K 0102 67.2 水素化合物発生原子吸光法 " 67.3 水素化合物発生ICP発光分光分析法 " 67.4 ICP 質量分析法	0.002	2
硝酸性窒素	10 以下	JIS K 0102 43.2.3 銅・カドミウム還元ナフチルエチレン ジアミン吸光光度法 " 43.2.5 イオンクロマトグラフ法 " 43.2.6 流れ分析法	0.05	2
亜硝酸性窒素		JIS K 0102 43.1.1 ナフチルエチレンジアミン吸光光度法 " 43.1.2 イオンクロマトグラフ法 " 43.1.3 流れ分析法	0.05	2

項目	環境基準 mg/L	測定方法	報告下限値 mg/L	有効 桁数
ふっ素	0.8 以下	JIS K 0102 34.1 (備考1を除く。) 吸光度法 " 34.1.1(c) (注(2)第3文及び備考1を除く。)に 定める方法(懸濁物質及びイオンクロマトグラ フ法で妨害となる物質が共存しないことを確認 した場合にあっては、これを省略することがで きる。)及び環境基準告示 付表7イオンクロ マトグラフ法 JIS K 0102 34.4 流れ分析法(妨害となる物質としてハロ ゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含ま れる試料を測定する場合にあっては、蒸留試薬溶 液として、水約200mlに硫酸10ml、りん酸60ml 及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセ リン250mlを混合し、水を加えて1,000mlとし たものを用い、JIS K 0170-6 の6 図2 注記のアル ミニウム溶液のラインを追加する。)	0.08	2
ほう素	1 以下	JIS K 0102 47.1 メチレンブルー吸光度法 " 47.3 ICP 発光分光分析法 " 47.4 ICP 質量分析法	0.02	2
1,4-ジオキサン	0.05 以下	環境基準告示 付表8の第1 活性炭抽出GC-MS 法 " 付表8の第2 パージ・トラップGC-MS 法 " 付表8の第3 ヘッドスペースGC-MS 法	0.005	2
備考 【有効数字】 1 有効数字を2桁とし、3桁目以下を切り捨てる。 2 報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。 3 環境基準値が2物質の濃度の和とされている項目については、まず2物質の測定値の合計値を求めた後に、上記の1及び2の桁数処 理を行う。ただし、2物質の測定値のいずれか一方が報告下限値未満の場合は、その報告下限値未満に代えて報告下限値の数値を測定値 として扱う。 【報告下限値】 環境基準値が2物質の濃度の和とされている項目については、当該2物質それぞれの報告下限値を合計して得た値を報告下限値とし、2 物質がいずれも、それぞれの報告下限値未満の場合には、報告下限値未満とする。				

項目	(参考) 評価基準値	測定方法	報告下限値	有効 桁数
電気伝導率 [mS/m]	-	JIS K 0102 13	1	2
pH	(5.8以上8.6以下)	JIS K 0102 12.1	-	※
水温 [°C]	-	JIS K 0102 7.2	-	※
臭気	-	JIS K 0102 10.1	-	-
外観	-	JIS K 0102 8	-	-
水位及び深度 [m]	-	-	-	※
備考 ※ pH、水温、水位及び深度については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までとする。				

項目	環境基準 mg/L	測定方法	報告下限値 mg/L	有効 桁数
アルカリ度	-	上水試験方法	0.2	2
ケイ酸	-	JIS K 0101 44.1.2に定める方法	0.1	2
全鉄	-	JIS K 0102 57.2、57.3又は57.4に定める方法	0.02	2
塩化物イオン	-	JIS K 0102 35に定める方法	0.1	2
硝酸イオン	-	JIS K 0102 43.2に定める方法	0.1	2
硫酸イオン	-	JIS K 0102 41.3に定める方法	1.5	2
ナトリウム	-	JIS K 0102 48.2、48.3に定める方法	0.03	2
カリウム	-	JIS K 0102 49.2、49.3に定める方法	0.04	2
カルシウム	-	JIS K 0102 50.2、50.3又は50.4に定める方法	0.2	2
マグネシウム	-	JIS K 0102 51.2、51.3又は51.4に定める方法	0.02	2
備考 1 有効数字を2桁とし、3桁目以下を切り捨てる。 2 報告下限値の桁を下回る桁については切り捨てる。				